

「スパコンによる砂防に関連した流れの大規模シミュレーション」講演会を開催しました。

11月15日、砂防会館別館にて「スパコンによる砂防に関連した流れの大規模シミュレーション」講演会を開催し、GPUスパコンの第一人者である東京科学大学(旧東京工業大学)の青木尊之教授を講師に迎え、貴重なお話を伺うことができました。

講演会では、青木教授のこれまでの研究成果の砂防技術への適用例として、

- ①広域な流域におけるGPUコンピューティング技術を用いた高速2次元土砂・洪水氾濫計算
- ②「AMR法」「空間充填曲線を用いた動的負荷分散技術」などにより鋼製透過型砂防堰堤の土石流捕捉過程を再現した3次元数値シミュレーション技術
- ③流木捕捉実験結果とほぼ同等な現象を再現・予測可能な3次元シミュレーション技術

について、ご講演いただきました。最新の数値計算技術の動向把握や最新技術の将来的な事業・業務への適用をイメージでき、大変有意義な時間となりました。

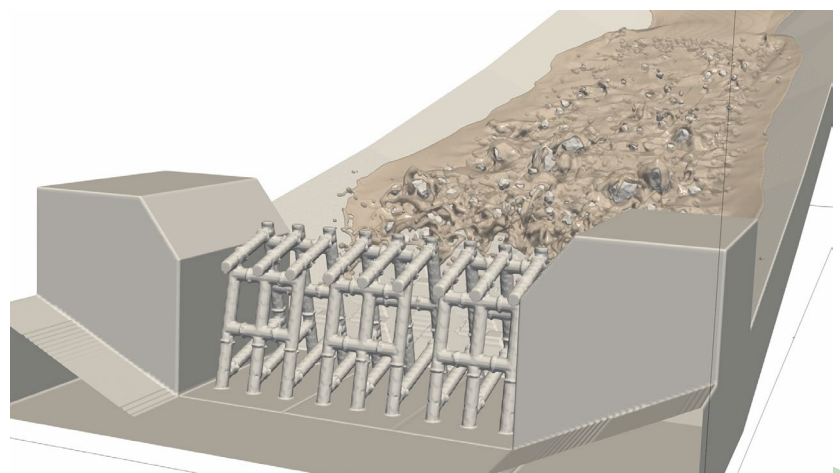
本講演会は、多くの皆様のご参加と温かいご声援により、盛況のうちに終了しましたことをご報告いたします。当センターでは、今後も研究活動・技術開発に積極的に取り組むと共に、砂防技術者の育成・技術力の向上に努めてまいります。

■東京科学大学(旧東京工業大学) 青木研究室ホームページ

<http://www.sim.gsic.titech.ac.jp/index-j.html>



講演会の様子



鋼製透過型砂防堰堤の土石流捕捉過程のシミュレーション